

2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8008 URL <https://yondoshi.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）増田 英紀
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役常務執行役員業務担当 （氏名）西村 政彦 （TEL）03-5719-3295
 半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 2024年11月8日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年2月期中間期 | 19,460 | 1.8 | 835 | △21.9 | 1,048 | △18.4 | 671 | △3.5 |
| 2024年2月期中間期 | 19,110 | 3.2 | 1,069 | 65.7 | 1,284 | 56.2 | 696 | 35.7 |

（注）包括利益 2025年2月期中間期 758百万円（△40.3%） 2024年2月期中間期 1,269百万円（-%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年2月期中間期 | 31.32 | — |
| 2024年2月期中間期 | 32.49 | — |

（参考）のれん償却前営業利益 2025年2月期中間期 1,083百万円 2024年2月期中間期 1,317百万円
 当社は、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年2月期中間期 | 50,624 | 38,493 | 76.0 | 1,792.27 |
| 2024年2月期 | 50,643 | 38,596 | 76.2 | 1,798.49 |

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 38,473百万円 2024年2月期 38,577百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年2月期 | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 |
| 2025年2月期 | — | 41.50 | — | — | — |
| 2025年2月期（予想） | — | — | — | 41.50 | 83.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 41,000 | 3.9 | 2,350 | 12.1 | 2,800 | 11.3 | 1,600 | 23.0 | 74.57 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）のれん償却前1株当たり当期純利益は、通期97円71銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年2月期中間期 | 24,331,356株 | 2024年2月期 | 24,331,356株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年2月期中間期 | 2,865,282株 | 2024年2月期 | 2,881,696株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2025年2月期中間期 | 21,457,046株 | 2024年2月期中間期 | 21,443,223株 |

（注）自己株式数については、当中間連結会計期間末に役員向け株式給付信託が所有する当社株式121,668株を含めて記載しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2024年10月11日（金）に機関投資家、アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | |
| 中間連結会計期間 | 7 |
| (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等の注記) | 11 |
| (収益認識関係) | 12 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年3月1日～2024年8月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調となりましたが、原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価の上昇、地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

流通業界におきましては、引き続き高額品の消費が好調に推移し、インバウンド需要も増加する一方、物価高騰に賃金の上昇が追いつかず、実質賃金は減少傾向にあるなか、消費者の節約・低価格志向も続いており、消費の二極化はますます拡大しております。

このような状況のなか、当社グループは、第7次中期経営計画初年度となる2025年2月期におきまして、経営環境への対応を前提に、顧客提供価値を追求し、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築すべく、各種施策を推進しております。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向けサステナブル経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高194億60百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益8億35百万円(前年同期比21.9%減)、経常利益10億48百万円(前年同期比18.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益6億71百万円(前年同期比3.5%減)となりました。また、重要な経営指標として定めている、のれん償却前営業利益は10億83百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、ジュエリー事業は、新たな事業領域の拡大も視野に入れ、セグメント名称を「ブランド事業」へと変更いたしました。

(ブランド事業)

ブランド事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、女性客の支持拡大に向けた商品・販売促進戦略の見直しによる基盤づくりに取り組んでおります。MD改革によるテイストの幅の拡大、ブランドプロモーションの実施により、一時的に費用は先行しましたが、女性客の売上高は拡大基調が続いています。

その結果、売上高は71億68百万円(前年同期比8.9%減)、営業利益は3億82百万円(前年同期比28.2%減)と減収減益となりました。

(アパレル事業)

デイリーファッション「パレット」を展開する㈱アージュは、計画以上の7店舗の新規出店や既存店の伸長により売上高が拡大いたしました。

アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、主力取引先との取り組みが拡大し、売上高・利益ともに好調に推移いたしました。

その結果、売上高は122億91百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は7億5百万円(前年同期比9.3%減)と増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、現金及び預金が9億16百万円増加したものの、商品及び製品が3億60百万円、のれんが2億48百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して18百万円減少し、506億24百万円となりました。負債は主に、資産除去債務が84百万円減少したものの、未払い法人税等が2億43百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して83百万円増加し、121億31百万円となりました。純資産は主に、その他有価証券評価差額金が1億49百万円増加したものの、利益剰余金が2億23百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して1億2百万円減少し、384億93百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して4億69百万円増加し、24億82百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果、資金の増加は19億58百万円(前年同期比6億1百万円増)となりました。これは主に、法人税等の支払額が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果、資金の減少は1億56百万円(前年同期比21億83百万円増)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が減少したこと及び投資有価証券売却による収入が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果、資金の減少は8億90百万円(前年同期比20億87百万円減)となりました。これは主に、短期借入金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月12日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当中間連結会計期間 (2024年8月31日) |
|-------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,579 | 2,496 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,905 | 3,007 |
| 商品及び製品 | 8,080 | 7,720 |
| 仕掛品 | 108 | 92 |
| 原材料及び貯蔵品 | 430 | 385 |
| その他 | 842 | 397 |
| 貸倒引当金 | △5 | △4 |
| 流動資産合計 | 13,941 | 14,095 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,027 | 3,944 |
| 土地 | 5,839 | 5,839 |
| その他(純額) | 449 | 401 |
| 有形固定資産合計 | 10,316 | 10,185 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,241 | 993 |
| その他 | 483 | 462 |
| 無形固定資産合計 | 1,724 | 1,455 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,530 | 20,653 |
| 退職給付に係る資産 | 443 | 460 |
| その他 | 3,733 | 3,820 |
| 貸倒引当金 | △47 | △47 |
| 投資その他の資産合計 | 24,660 | 24,887 |
| 固定資産合計 | 36,701 | 36,528 |
| 資産合計 | 50,643 | 50,624 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年2月29日) | 当中間連結会計期間 (2024年8月31日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,369 | 2,099 |
| 電子記録債務 | 699 | 896 |
| 未払法人税等 | 252 | 495 |
| 賞与引当金 | 271 | 180 |
| 役員賞与引当金 | 48 | 30 |
| 資産除去債務 | 86 | 2 |
| その他 | 1,878 | 2,012 |
| 流動負債合計 | 5,605 | 5,718 |
| 固定負債 | | |
| 役員株式給付引当金 | 243 | 253 |
| 退職給付に係る負債 | 494 | 470 |
| 資産除去債務 | 979 | 944 |
| その他 | 4,724 | 4,743 |
| 固定負債合計 | 6,441 | 6,412 |
| 負債合計 | 12,047 | 12,131 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,486 | 2,486 |
| 資本剰余金 | 7,178 | 7,178 |
| 利益剰余金 | 30,567 | 30,344 |
| 自己株式 | △6,123 | △6,090 |
| 株主資本合計 | 34,109 | 33,918 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,857 | 5,007 |
| 繰延ヘッジ損益 | 8 | △63 |
| 土地再評価差額金 | △233 | △233 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △165 | △155 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,467 | 4,554 |
| 新株予約権 | 18 | 20 |
| 純資産合計 | 38,596 | 38,493 |
| 負債純資産合計 | 50,643 | 50,624 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 19,110 | 19,460 |
| 売上原価 | 9,737 | 10,203 |
| 売上総利益 | 9,373 | 9,256 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,303 | 8,421 |
| 営業利益 | 1,069 | 835 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 72 | 71 |
| 受取配当金 | 113 | 126 |
| 為替差益 | 9 | 7 |
| その他 | 22 | 16 |
| 営業外収益合計 | 217 | 222 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 支払手数料 | — | 7 |
| 保険解約損 | 0 | — |
| その他 | 0 | 1 |
| 営業外費用合計 | 1 | 8 |
| 経常利益 | 1,284 | 1,048 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 340 |
| 特別利益合計 | — | 340 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 59 | 93 |
| 店舗閉鎖損失 | 23 | 4 |
| 建物解体費用 | — | 177 |
| 特別損失合計 | 83 | 276 |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,200 | 1,112 |
| 法人税等 | 504 | 440 |
| 中間純利益 | 696 | 671 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 696 | 671 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日) |
|----------------|---|---|
| 中間純利益 | 696 | 671 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 523 | 149 |
| 繰延ヘッジ損益 | 44 | △72 |
| 為替換算調整勘定 | △2 | — |
| 退職給付に係る調整額 | 8 | 10 |
| その他の包括利益合計 | 572 | 86 |
| 中間包括利益 | 1,269 | 758 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 1,269 | 758 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,200 | 1,112 |
| 減価償却費 | 342 | 323 |
| 減損損失 | 59 | 93 |
| のれん償却額 | 248 | 248 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 0 | △1 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △56 | △90 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △10 | △24 |
| その他の引当金の増減額(△は減少) | 26 | △7 |
| 受取利息及び受取配当金 | △185 | △197 |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 為替差損益(△は益) | △0 | 0 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △340 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 37 | △102 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 289 | 421 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 42 | △71 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △35 | △80 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 7 | 112 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △116 | 6 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 209 | 219 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △97 | 70 |
| 小計 | 1,963 | 1,693 |
| 利息及び配当金の受取額 | 182 | 200 |
| 利息の支払額 | △0 | △0 |
| 法人税等の支払額 | △913 | △253 |
| 法人税等の還付額 | 125 | 317 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,356 | 1,958 |

(単位:百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △411 | △324 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △121 | △17 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,523 | △1,013 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 1,451 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 0 | 0 |
| 長期貸付けによる支出 | — | △0 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △18 | △50 |
| その他の支出 | △291 | △238 |
| その他の収入 | 26 | 35 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,340 | △156 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 2,100 | — |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | 11 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △893 | △895 |
| その他の支出 | △8 | △5 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,197 | △890 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 213 | 911 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,799 | 1,570 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,012 | 2,482 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式報酬制度)

当社は、2018年5月17日開催の第68回定時株主総会に基づき、2018年11月28日より、当社の取締役(監査等委員である取締役を除く)及び監査等委員である取締役(社外取締役を除く)、当社の主要グループ子会社の取締役及び監査役(社外監査役を除く)を対象者(以下、「取締役等」という)とする株式報酬制度(以下、「本制度」という)を導入しております。

1 取引の概要

本制度は、当社が設定した信託(以下、「本信託」という)に対して金銭を拠出し、本信託が当該金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて対象会社の取締役等に対して、対象会社が定める役員報酬に係る役員向け株式給付信託株式給付規程に従って、当社株式を給付する株式報酬制度であります。また、取締役等が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

2 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末255百万円、132,170株、当中間連結会計期間末234百万円、121,688株であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|-------------------------------|
| | ブランド事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 7,836 | 10,804 | 18,641 | — | 18,641 |
| その他の収益(注) 3 | 36 | 432 | 469 | — | 469 |
| 外部顧客への売上高 | 7,873 | 11,237 | 19,110 | — | 19,110 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 0 | 59 | 59 | △59 | — |
| 計 | 7,873 | 11,296 | 19,170 | △59 | 19,110 |
| セグメント利益 | 533 | 777 | 1,310 | △241 | 1,069 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△241百万円には、のれん償却額△248百万円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△272百万円、セグメント間取引消去額278百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報
 告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|-------------------------------|
| | ブランド事業 | アパレル事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる 収益 | 7,132 | 11,880 | 19,012 | — | 19,012 |
| その他の収益(注) 3 | 36 | 411 | 447 | — | 447 |
| 外部顧客への売上高 | 7,168 | 12,291 | 19,460 | — | 19,460 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 0 | 72 | 72 | △72 | — |
| 計 | 7,168 | 12,364 | 19,533 | △72 | 19,460 |
| セグメント利益 | 382 | 705 | 1,087 | △252 | 835 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△252百万円には、のれん償却額△248百万円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△262百万円、セグメント間取引消去額258百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報
 告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より「ジュエリー事業」としていたセグメント名称を「ブランド事業」に
 変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、
 前中間連結会計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであ
 ります。

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社化)

当社は、2024年10月11日開催の取締役会において、株式会社羅針(以下、「羅針」という)の株式を取得し、子会社化することについて決議し、2024年10月11日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1 株式取得の目的

羅針は、リユース業界で豊富な経験と実績を持つ企業であり、高級ブランド時計を専門的に取り扱うリユース事業を運営しており、国内にて3店舗を展開するほか、銀座にて買取専門サロンも構えております。

リユース業界はサステナブルな社会の実現に向けた消費者の価値観の変化により、今後も持続的な成長が見込まれます。羅針を当社グループに加えることで、従来の事業領域を超えた新たな価値を創出し、より多様なニーズに応える体制を構築いたします。

ブランド事業における事業領域の拡大と付加価値の向上、当社グループの飛躍的な利益成長、そして、安定した強固な事業ポートフォリオの確立を目指し、同社の株式を取得することといたしました。

2 株式を取得する会社の概要

| | |
|----------|------------------------|
| (1)名称 | 株式会社羅針 |
| (2)資本金 | 8百万円 |
| (3)事業内容 | 腕時計の販売・買取事業、腕時計の法人営業事業 |
| (4)事業の規模 | 純資産 4,471百万円 |
| | 総資産 9,500百万円 |
| | 売上高 18,579百万円 |
| | 営業利益 1,555百万円 |

2024年2月期の数値であり、当社の会計監査人の監査証明を受けておりません。

3 株式取得の相手先の名称

アント・カタライザー6号投資事業有限責任組合、CATALYZER PARTNERS VI, L.P.、MOMENTUM VI, L.P.

4 株式取得の時期

2024年12月2日(予定)

5 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

| | |
|-------------|-----------|
| (1)取得する株式の数 | 341,700株 |
| (2)取得価額 | 10,492百万円 |
| (3)取得後の持分比率 | 97.2% |

6. 支払資金の調達方法

自己資金及び銀行からの借入(予定)